



## 北海道静内農業高等学校 静農 草花研究班

北海道日高郡新ひだか町静内田原797番地

生産と環境の両立を目指して  
～カーボンファーミングによる輝かしい未来～

【バイオ炭を用いて栽培したデルフィニウム】

新ひだか町は、国内トップクラスのデルフィニウム産地ですが、温暖化がデルフィニウム生産へ悪影響を与えていたと聞きました。そこで私たちは「みどりの食料システム戦略」のバイオ炭の利用に着目しました。1年目は購入した木質バイオ炭を使用し、品質向上を確認。2年目は地域残渣のアスパラ茎葉をバイオ炭にし、特性を明らかにしました。3年目はアスパラバイオ炭を用いた栽培に挑戦した結果、アスパラバイオ炭は炭酸カルシウムと同等の効果を示すも、切り花長の伸長とバイオ炭作製の手間が生産者導入における課題となりました。私たちだけではこの大きな課題を解決できません。皆様からのアドバイスや情報をいただけたと嬉しいです！